

40 周年記念セミナーに引き続き、グランドアーク半蔵門光の間に場所を移して祝賀パーティが開催された。

Pablo Bueno FIDIC 会長、国土交通省 徳山日出男技監、文部科学省科学技術政策局伊藤 宗太郎次長、独立行政法人 国際協力機構(JICA) 黒柳俊之理事をはじめとする多くの来賓の方々、AJCE 歴代会長をはじめとする AJCE 関係者、総勢 120 名の参加を得た 40 周年にふさわしい盛大なパーティとなった。



① 開会挨拶 AJCE 内村好会長

セミナー、パーティ参加者へのお礼と、来賓への謝意を表したのち、40 年間の振り返りと今後についての所信を述べた。

1960 年代に FIDIC に参加するための努力が始まったが、さまざまな障害のため、ようやく実現したのは 1975 年のことであった。当時はメールのような便利なものもなく、海外渡航も不自由な時代であったから、その努力は大変なものであったと推察する。これが日本のコンサルタントの世界に対する貢献の端緒となった。AJCE はそのような努力のもとにこうやって 40 周年を迎えることができた。先人の方々の尽力に対して改めて敬意を表したい。

お昼のセミナーを通では、われわれコンサルタ



ントの海外展開も変化点に差し掛かっていることを痛感した。今後、AJCE もそのような背景を踏まえつつ先を目指していかないとならないし、自分も AJCE 会長として皆様とともに努力をしてみたいと思っている。

② 祝辞 FIDIC Pablo Bueno 会長

「こんばんは」との日本語での挨拶に続き、「自分の中でスペイン語から英語に翻訳し、さらに山下 AJCE 事務局長が英語を日本語に通訳するわけだが、さてどうなりますことやら」と会場の笑いを誘った。

午後の熱気あるセミナーの後なのでリラックスした雰囲気の皆様にお祝いを述べさせていただきたい。40 年間というのは長い年月だが、その間、AJCE は皆様が一体となって発展し基盤を作ってこられた。FIDIC としてもできる限りの支援をしていく所存である。

聞くところによると、日本には AJCE のほかにもコンサルタント関連協会があるとのこと。手を携えて日本のコンサルティング業界を代表していただけることを期待している。数ヶ月前の話だが、アフリカのモザンビークを訪れた際、南アフリカの空港で当地のことわざを目にした。「早く先に進みたいなら一人で行くがよい、しかしより遠くまで行きたいなら皆と一緒に行くべきだ」というものだ。

FIDIC は創立後の 100 年間で遠いところまで来た。この 40 年間、強力な支援者である AJCE と共に活動してこられたことに感謝したい。皆でさらに遠くへと歩を進めて行こう。これからも共に手を携えて前に進んでいけることを楽しみにしている。

本日のセミナーで扱われた課題は世界共通である。9 月に開催されるリオ大会でも、さ



らに議論がなされる予定なので、ぜひ参加いただきたい。

最後に「おめでとうございます」と日本語で挨拶を締めくくった。

③ 祝辞 国土交通省 徳山日出男技監

AJCE40周年をお喜び申し上げます。昨日技監に就任したばかりで、実はこれが初仕事である。

インフラ整備に関する環境は大きな潮目の時期が来た。とりわけこの老朽化の時代、メンテナンスの問題が最優先である。7月からは、すべての橋梁70万橋とトンネル1万箇所を対象にして法律で義務付けた点検が始まる。これは大変なことではあるが、大きく安定的なメンテナンス産業が新たに生まれようとしている。さらに成長戦略のひとつとしてインフラの海外進出ということが謳われている。簡単ではないだろうが、国内と海外輸出の両面でこの産業を育てていかななくてはならない。

皆さんと力を合わせて、国内そして海外展開を進めて行きたい。皆さんと同じ方向を向いて、明るい未来に向かって行きたい。



④ 乾杯挨拶 JICA 黒柳俊之理事

わが国のODAも60年を迎えたが、JICAができて40周年になる。これまでやってこられたのはAJCEに支えられてきたからである。これからも皆さんと一緒に世界を良くする為に頑張っていきたい。

「乾杯」の発声ののち、ブエノ会長に向けスペイン語で「Salud!」と加え、万雷の拍手に迎えられた。



⑤ 創立40周年記念賞表彰

永年にわたりAJCEに貢献された方々総勢28名に対して記念賞が授与された。熊谷忠輝AJCE理事・倫理委員会副委員長から受賞者の名が呼ばれ、拍手を持って壇上に迎えられた。代表して黒

澤氏に内村会長から賞状が贈られ、黒澤氏から挨拶があった後、記念撮影が行われた。



⑥ 歴代AJCE会長紹介

梅田昌郎、石井弓夫、廣谷彰彦、廣瀬典昭、内村好、歴代会長が紹介された。



⑦ スライドショー

AJCE40年のあゆみをまとめたスライドショーが紹介された。これは12分に及ぶ大変な労作であるが、AJCE事務局員がすべて直営で制作したものとのことである。AJCEの長い道程における貴重な写真類をまとめた映像作品で、AJCEに関ってきた方々にさまざまな感慨をもたらしたと思う。本スライドショーは本誌付録DVDに収録されている。

⑧ 中締め AJCE 永治泰司副会長

最後は永治AJCE副会長により中締めの挨拶がなされ、盛大なうちに祝賀パーティーは閉会となった。

